

資料編

1 豊島区観光振興に関する来街者動向調査及び区民意識調査 報告書の要点について（*報告書全体版は、豊島区ホームページに掲載）

（1）来街者動向調査の要点

一都三県からの来街者

01 訪問エリア

「池袋」の訪問率は9割を超える 次いで多い「巣鴨」「大塚」は約2割

一都三県からの来街者の豊島区での訪問先としては、「池袋エリア」が圧倒的に多く、来街者の90.2%が訪問。

次いで多いのは「巣鴨エリア」と「大塚エリア」で、いずれも2割前後。

性別でみると、「巣鴨エリア」は、男性の訪問率が24.0%と女性より5ポイント高く、「おばあちゃん原宿」と呼ばれて久しい「巣鴨エリア」だが、男性の訪問も多い。

（報告書 p.18）

02 訪問回数

来街者の4人に1人が 2019年以降に10回以上訪問

一都三県からの来街者のうち、4人に1人は2019年以降に10回以上豊島区を訪問している（25.0%）。

特に男性の20代以下・30代・60代では、10回以上訪問している割合が3割を超え、他の性年代より高い。

対して、1回のみ訪問は全体の14.7%にとどまり、性年代別では女性30代が最も高く26.0%。

（報告書 p.20）

03 訪問目的

「観光・娯楽・レジャー」は約8割 次いで「乗換」が約2割、「ビジネス」は約1割

一都三県からの来街者の訪問目的としては、「観光・娯楽・レジャー（ショッピングなどを含む）」が77.8%を占め、特に女性20代以下・30代・40代では9割近くにのぼる。

次いで高いのは「乗換（主目的は豊島区外）」で19.8%。「ビジネス（出張・訪問など）」は12.2%だが、男性60代では36.0%と他の性年代より高い。

（報告書 p.21）

04 移動手段

「JR線」が最も多く約7割、 次いで「東京さくらトラム」が約3割

一都三県からの来街者の豊島区内での移動手段は、「JR線」が70.8%で最も高く、次いで「東京さくらトラム（都電荒川線）」が29.2%で続く。

性年代別でみると、男性70代以上で「東京さくらトラム」の利用率が44.0%と4割を超える。

（報告書 p.30）

全国（一都三県を除く）からの来街者

「池袋」の訪問率は約8割 次いで「巣鴨」「目白、雑司が谷、高田」が続く

一都三県を除く全国からの来街者の訪問先も「池袋エリア」が最も多く、81.6%。

次いで「巣鴨エリア」が18.6%で続き、そこから5ポイント以上差が開き「目白、雑司が谷、高田エリア」が12.3%で続く。

全国からの来街者も、「巣鴨エリア」は男性の訪問率が女性より5ポイント以上高い。

（報告書 p.52）

約4割が「1回」のみの訪問 平均訪問回数は3回

2019年以降の訪問回数は、42.5%が「1回」のみで、平均訪問回数は「3.0回」（一都三県からの来街者は「6.7回」）。

10回以上の訪問は全体で5.3%にとどまるが、性年代別では、男性40代で13.0%と他の性年代より高く、平均訪問回数も男性40代は「4.2回」と多い。

（報告書 p.54）

「観光・レジャー」は約7割 次いで「ビジネス」や「帰省・知人訪問」が1割半ば

一都三県を除く全国からの来街者は、「観光・娯楽・レジャー（ショッピングなどを含む）」が72.8%を占め最も多い。

次いで「ビジネス（出張など）」が16.1%、「帰省・知人や親戚訪問」が15.8%で続き、これらは一都三県からの来街者より割合が高い。

特に女性60代・70代以上では、「帰省・知人や親戚訪問」が3割を超え、他の性年代より高い。

（報告書 p.55）

「東京さくらトラム」は1割半ば 「イケバス」は一都三県より多い

一都三県を除く全国からの来街者も、「JR線」が最も高く76.9%。

「東京さくらトラム（都電荒川線）」の利用率は16.4%と、一都三県（29.2%）より低い、「イケバス」は6.7%と一都三県（5.0%）より高い。特に、男性30代では「イケバス」の利用率が17.0%と他の性年代より高い。

「徒歩」については、20.7%を占めており、区域が13.01K㎡と狭い豊島区を周遊する際は、徒歩も有力な移動手段となっている。

（報告書 p.65）

一都三県からの来街者

05 豊島区のイメージ

半数以上が「交通の利便性が高い」と回答するも年代で大きな差がみられる

豊島区訪問後のまちのイメージとして最も多いイメージは「交通の利便性が高い」で53.5%。

特に男女60代・70代以上では6割以上が回答しているが、男女30代ではそれぞれ4割を下回り、年代によって大きな差がみられる。

依然として、「怖い・汚い」というイメージの来街者が存在し、全体では11.2%、女性20代以下では全体平均より10ポイント以上、男性30代では全体平均より5ポイント以上高い。

(報告書 p.29)

06 満足度・推奨度

豊島区への訪問に「満足」は約6割、「勧めたい」は約4割

豊島区への訪問全体の満足度は、57.2%が満足と回答。

性年代別でみると、満足との回答は女性20代以下が最も高く80.0%、対して女性40代は46.0%と最も低い。

豊島区への訪問を勧めたいと思うかについては、そう思うが41.8%で、男女20代以下は全体平均より15ポイント以上高い。

(報告書 p.34,36)

07 項目別の満足度

「食事施設」の満足度が高い一方、「ナイトライフ」や「観光情報の入手のしやすさ」に課題

施設やサービスごとの満足度では、各施設の利用者のうち、「食事施設」を満足と回答した人が63.7%で他の項目より高い。

一方で、「ナイトライフ」を満足と回答した人は23.4%、「観光情報の入手のしやすさ」は23.2%と他の施設やサービスと比べて満足度が低い。

(報告書 p.35)

08 豊島区の好きなところ、不満点

サブカル・エンタメが魅力としてあがるも道案内や、治安に不満あり

豊島区の好きなところの自由回答では、「サンシャインシティ」が圧倒的に多いが、「サブカルチャー・エンタメ・芸術施設」に関する回答も多い。

一方で不満点としては、「道が分かりづらいこと」や、「治安の悪さ」に関する回答が多い。

(報告書 p.50)

全国（一都三県を除く）からの来街者

半数を下回るもトップは「交通の利便性が高い」女性30代以下では「サブカル」のイメージ強い

一都三県を除く全国からの来街者でも「交通の利便性が高い」が最も高く47.0%。

「サブカルチャーに多く触れることができる」イメージは、全体で13.2%だが、女性20代以下・30代では2割半ばと、他の性年代より高い。

全国でも同様に「怖い・汚い」というイメージの来街者が存在し、全体では7.5%、女性20代以下・30代では全体平均より5ポイント以上高い。

(報告書 p.64)

全国からの来街者は「満足」が6割半ば、「勧めたい」は約5割

一都三県を除く全国からの来街者では、訪問全体の満足度を、63.0%が満足と回答し、一都三県より約5ポイント高い。性年代別でみると、満足との回答は男性30代が最も高く77.0%。一方、男性60代・70代以上は他の性年代より低く、半数を下回る。

豊島区への訪問を勧めたいと思うかについては、そう思うが50.9%で、男性20代以下・女性30代が全国平均より10ポイント以上高い。

(報告書 p.69,71)

ほとんどの項目で一都三県を上回る。最も低い項目は「ナイトライフ」

一都三県を除く全国からの来街者においても、「食事施設」を満足と回答した人が最も多く64.3%。そのほか、ほとんどの項目で一都三県を上回る。

一方で、「ナイトライフ」を満足と回答した人は32.4%で最も低く、不満も7.9%と他の施設より高い。

(報告書 p.70)

様々な買い物を楽しめる魅力環境面で不満あり

一都三県を除く全国の自由回答では、好きなところとして「お店が多い」や「なんでも揃う」など買い物に関する回答が多い。

一方で、不満点としては、「汚い」、「狭い」、「混んでいる」など、環境面の回答が多い。

(報告書 p.85)

一都三県からの来街者

09 豊島区内にある施設について

東京芸術劇場

一都三県の男女別の訪問率は、男性が29.7%に対して、女性は45.3%と、女性の方が15ポイント以上高い。
一方、全国（一都三県を除く）からの来街者では、男女ともに2割前半で大きな差はないことから、一都三県からの来街者は、女性の訪問率が高い特徴がある。

（報告書 p.44,79）

雑司ヶ谷鬼子母神堂

一都三県からの訪問率は13.3%と、全国（10.2%）よりわずかに高いが、性年代別で比較すると、一都三県の男性70代以上と女性60代はいずれも24.0%、女性70代以上は32.0%と、全国と同じ性年代より15ポイント以上高く、一都三県では高い年齢層の訪問率が高い特徴がある。

（報告書 p.46,81）

※正しくは、鬼子母神堂の「鬼」の字は、1画目の点（ツノ）のない文字を用います。

巣鴨とげぬき地蔵・巣鴨地蔵通り商店街

一都三県からの来街者の訪問率は39.8%と、全国（28.7%）より10ポイント以上高く、特に一都三県の女性の訪問率は42.0%と4割を超える。性年代別で比較しても、一都三県の女性50代以上の訪問率は6割を超え、特に女性50代の訪問率は、全国が29.0%であるのに対して、一都三県では62.0%と、全国の2倍以上高い。

（報告書 p.47,82）

全国（一都三県を除く）からの来街者

09 豊島区内にある施設について

アニメイト

全国（一都三県を除く）からの来街者の訪問率は21.3%と、一都三県（20.5%）よりわずかに高い。
性年代別で比較すると、男性40代は一都三県で20.0%に対して全国では28.0%、女性40代も一都三県では14.0%に対して全国では25.0%と、全国からの来街者は、男女ともに40代の訪問率が一都三県より高い特徴がある。

（報告書 p.45,80）

トキワ荘マンガミュージアム・トキワ荘通りお休み処

全国（一都三県を除く）からの来街者の訪問率は10.8%と、一都三県（6.3%）より高い。
特に性年代別で比較すると、男性30代は一都三県で14.0%に対して全国では23.0%、女性70代以上も一都三県では4.0%に対して全国では14.0%と、これらの性年代において一都三県より全国の方が訪問率が高い特徴がある。

（報告書 p.46,81）

（出典）豊島区「豊島区観光振興に関する来街者動向調査報告書（令和5年度）」



(2) 区民意識調査の要点

01 豊島区のイメージ

**トップは「交通の利便性が高い」。
「欲しいものがすぐ手に入る」は男女で差が大きい**

豊島区のまちなイメージとして最も多いのは「交通の利便性が高い」で約8割を占めるが、性年代別では、男性30代～50代で6割台と性年代によって差がみられる。

「欲しいもの・食べたいものがすぐ手に入る」というイメージは、女性では55.7%と半数を超えるが、男性では36.6%と女性より約20ポイント低い。

(報告書 p.11)

02 来街者が増えることについて

**来街者が増えることが「良いと思う」は約半数
「よくないと思う」は1割半ば**

来街者が増えることについて、「よいと思う」との回答は半数を超える53.2%だが、14.0%は「よくないと思う」と回答。

性年代別では女性20代以下で「よいと思う」が68.6%と他の性年代に比べて高いが、男女40代・50代ではいずれも4割前後にとどまり、他の性年代より低い。

(報告書 p.12)

03 来街者が増えることに対する意見

**来街者が増えることで街が活発になる反面
治安などへの不安も**

来街者が増えることに対する自由回答の意見では、肯定的な意見として、「街の雰囲気や経済が活発になる」ことなどがあげられた。

中立的な意見としては、「自分には関係ないから」や「不安はあるが仕方ない」など。

否定的な意見としては、「住みづらくなる」や「万引きなど治安への不安」などの回答があげられた。

(報告書 p.13)

04 おもてなしできること、薦めたいポイント

**来街者へのおもてなしは「道案内」など
「サンシャインシティ」以外にも勧めたい場所多数**

来街者におもてなしできることとして、「道案内」や「飲食店や観光スポットの紹介」などの回答が多い。

区外の人に勧めたいポイントとしては、「サンシャインシティ」が圧倒的に多いが、そのほかは「水族館」や「アニメイト」、「巣鴨」などの回答が多い。

(報告書 p.14)

05 豊島区内にある施設について

イケバス、東京さくらトラム(都電荒川線)

「イケバス」、「東京さくらトラム(都電荒川線)」の認知率はいずれも8割を超え、推奨率も5割を超える。「イケバス」の場合、「乗ったことはないが勧めたい」(27.5%)が「乗ったことがあり勧めたい」(25.4%)よりも割合が高く、実際に乗っていないにもかかわらず、その魅力を理解している区民が多いと考えられる。

(報告書 p.17)

東京芸術劇場

「東京芸術劇場」の認知率は、92.9%と「サンシャインシティ」に次いで高く、推奨率も64.4%と高い。

訪問率は70.5%だが、性年代別でみると、女性60代では82.9%、女性70代以上では91.4%と、女性60代以上で特に高い。

(報告書 p.16,22)

トキワ荘マンガミュージアム・トキワ荘通りお休み処

区民全体の訪問率は26.7%だが、男性40代では37.1%、女性70代以上では40.0%と、性年代によって10ポイント以上の違いがみられる。

(報告書 p.18,24)

巣鴨とげぬき地蔵・巣鴨地蔵通り商店街

男女ともに60代の訪問率は88.6%、女性70代以上では94.3%で特に高く、40代以下の訪問率と20ポイント以上の差がある。

(報告書 p.25)

(出典) 豊島区「豊島区観光振興に関する区民意識調査報告書(令和5年度)」

2 豊島区観光振興プラン策定委員会

(1) 設置要綱

豊島区観光振興プラン策定委員会設置要綱

平成 15 年 6 月 23 日

文化商工部長決定

制定 平成 15 年 6 月 23 日

改正 平成 25 年 1 月 10 日

平成 29 年 12 月 1 日

令和 4 年 11 月 21 日

(設置)

第 1 条 豊島区における観光振興の基本的なあり方等について検討を行い、観光振興プラン（以下「プラン」という。）を策定するため、観光振興プラン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) プランの策定に関すること。
- (2) その他、区長が必要と認めること。

(構成)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱又は任命する委員をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 区内観光団体、商工団体及び関係団体等が推薦する者
- (3) 公募による区民又は区内在勤・在学者
- (4) 豊島区職員

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から第 2 条に定めるプランの策定作業完了の日までとする。

(組織等)

第 5 条 委員会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により選任する。
- 3 副会長は、会長が指名する。
- 4 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会は、会長が招集する。

(ワーキンググループ)

第 7 条 委員会に、第 2 条に定める事項について調査、検討、提案するため、ワーキンググループを置くことができる。

- 2 ワーキンググループリーダーは、会長が指名する。
- 3 ワーキンググループの構成員は、会長が指定する。
- 4 ワーキンググループの招集及び運営は、会長が指定した者が行う。

(意見の聴取)

第 8 条 委員会及び部会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、又は他の方法により、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第 9 条 委員会の庶務は、文化商工部文化観光課が処理する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 25 年 1 月 22 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 29 年 12 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 4 年 11 月 21 日から施行する。



(2) 豊島区観光振興プラン策定委員会委員名簿

区分	職	氏名	所属及び役職
学識経験者	会長	1 羽生 冬佳	立教大学 観光学部 教授
	副会長	2 近江 正典	一般社団法人豊島区観光協会 会長
	委員	3 伊藤 茂夫	日本ホテル株式会社 ホテルメトロポリタン取締役 総支配人
	委員	4 東谷 彰子	ORIGINAL Inc. 取締役副社長
	委員	5 官沢 のぞみ	株式会社そごう・西武 顧客戦略部 インバウンド担当
民間企業/ 関係団体	委員	6 塩野 泰	株式会社サンシャインエンタプライズ 取締役
	委員	7 小寺 徹	一般社団法人 CSV 開発機構 専務理事
	委員	8 三橋 和也	東京商工会議所豊島支部 副分科会長
	委員	9 千野 富久	豊島区商店街連合会 副会長
	委員	10 田邊 紘子	公益財団法人としま未来文化財団 施設管理部 施設管理課長
	委員	11 秋元 志保	公募
公募委員	委員	12 近藤 健二	公募
	委員	13 平松 恵一郎	公募
豊島区職員	委員	14 小池 章一	豊島区 文化商工部長

(3) 審議経過

会議	開催日	主な審議内容
第1回	令和4(2022)年12月2日	改定に係るご意見、観光施策の現状について
第2回	令和5(2023)年2月16日	観光の現状報告、改定の方向性について
第3回	令和5(2023)年7月27日	豊島区の現状分析、構成(案)、施策体系(案)について
第4回	令和5(2023)年9月28日	観光の現状及び課題、骨子(案)について
第5回	令和5(2023)年11月9日	改定(素案)について
第6回	令和6(2024)年2月19日	パブリックコメント実施結果、改定(案)について

(4) 策定に向けた取組内容

①豊島区観光振興に関する来街者動向調査（一都三県・一都三県を除く全国）

調査目的	豊島区観光振興プランの改定に伴い、モニター調査を実施することにより、豊島区の観光振興に関する現状の把握を行う。																					
調査対象者	18歳～99歳の2019年以降に豊島区を訪問した方（豊島区民を除く）																					
サンプル数	①エリア：一都三県居住者 ※豊島区訪問時の居住地 割付：性年代12区分 計600人																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別 \ 歳</th> <th>18-29</th> <th>30-39</th> <th>40-49</th> <th>50-59</th> <th>60-69</th> <th>70-99</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99	男性	50	50	50	50	50	50	女性	50	50	50	50	50	50
	性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99															
男性	50	50	50	50	50	50																
女性	50	50	50	50	50	50																
②エリア：全国（一都三県を除く）居住者 ※豊島区訪問時の居住地 割付：性年代12区分 計1200人																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別 \ 歳</th> <th>18-29</th> <th>30-39</th> <th>40-49</th> <th>50-59</th> <th>60-69</th> <th>70-99</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99	男性	100	100	100	100	100	100	女性	100	100	100	100	100	100
性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99																
男性	100	100	100	100	100	100																
女性	100	100	100	100	100	100																
調査手法	インターネットを活用したモニター調査																					
調査期間	令和5（2023）年7月18日～7月21日																					

②豊島区観光振興に関する区民意識調査

調査目的	豊島区観光振興プランの改定に伴い、モニター調査を実施することにより、豊島区の観光振興に関する現状の把握を行う。																					
調査対象者条件	18歳～99歳の2年以上豊島区に居住する方																					
サンプル数	割付：性年代12区分計393人																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別 \ 歳</th> <th>18-29</th> <th>30-39</th> <th>40-49</th> <th>50-59</th> <th>60-69</th> <th>70-99</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>8</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99	男性	8	35	35	35	35	35	女性	35	35	35	35	35	35
	性別 \ 歳	18-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99															
男性	8	35	35	35	35	35																
女性	35	35	35	35	35	35																
※男性18-29歳のみ回答モニターから回収できなかったため、他の割付より少ない																						
調査手法	インターネットを活用したモニター調査																					
調査期間	令和5（2023）年7月14日～7月24日																					



③ツイート内容に基づいた豊島区内の地域イメージに関する調査

調査目的	豊島区内の地域に関するツイート内容の分析を通じて、地域別のイメージについての把握や地域資源の発見等、計画策定に寄与しうる情報の整理を目的とする。				
調査対象地域	区内7地域（雑司ヶ谷、椎名町、巢鴨、駒込、池袋、目白、北大塚）				
サンプル数		地区名	対象期間	収集したツイート数	分析対象とする文の数
	雑司ヶ谷		2019	960	2609
			2022-2023	960	2555
	椎名町		2019	345	1054
			2022-2023	362	1168
	巢鴨		2019	960	2495
			2022-2023	960	2545
	駒込		2019	960	2447
			2022-2023	960	2550
	池袋		2019	960	2378
			2022-2023	960	2384
	目白		2019	960	2658
			2022-2023	960	2853
	北大塚		2019	818	2312
		2022-2023	874	2636	
調査手法	Twitter（現 X）において、上記7地区について呟かれたツイートを地区毎に手動で収集し、テキストマイニングソフトを用いて対応分析及び共起ネットワーク分析を行った。対応分析では地域特性について、共起ネットワーク分析では地域に関するトピックについて分析し、その内容と変遷について把握した。				
調査期間	①平成31（2019）年1月～12月、②令和4（2022）年4月～令和5（2023）年3月				

④パブリックコメントの実施

実施期間	令和5（2023）年12月15日～令和6（2024）年1月15日		
提出者数	1人	意見数	3件
閲覧場所	行政情報コーナー、区民事務所（東・西）、各区民ひろば、各図書館 文化観光課、区ホームページ		

豊島区観光振興プラン

2024-2028 [令和6～10年度]

編集・発行 令和6(2024)年3月

豊島区文化商工部文化観光課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話番号：03-3981-4623



本プランは豊島区ホームページでも
公表しています。



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。